

第8章 成果報告会

2019年度の本事業の成果を広く広報するため、日本建築学会 CIB 委員会地震防災小委員会と一般社団法人全国建築コンクリートとの共催で、2020年2月27日に、日本建築学会の建築会館ホールにおいて、本プロジェクトの活動報告を含めて、以下のとおり「組積造の可能性を考えるシンポジウム 開発途上国の地震被害軽減への貢献と日本でのさらなる活用」を開催した。

政府からのコロナウイルス対策の要請があるなか、発表時を含めた発表者、開催側関係者のマスク着用を徹底するとともに、参加者に対する、受付における消毒液の利用、マスク着用の要請などを行って開催した。なお、事前申し込みをしながら所属先の外出の自粛要請により参加をキャンセルされたと思われる方が一定数あった。

(1) 開催趣旨

組積造は世界的に広く活用されている工法だが、特に開発途上国では甚大な地震被害を被ってきている。一方、日本では、戦後廉価な補強コンクリートブロック造が耐火性、耐震性に優れた構造として広く活用され、災害に対する強靭性を実証してきた。こうした中、ブロックが広範に使われているフィリピンを対象にして、日本の補強コンクリートブロック造を紹介、普及するプロジェクトが国交省支援で進められている。本シンポジウムでは、その活動、組積造関係の内外の基準、工法の改善提案、ブロック造の種々の工法の概要を紹介し、意見交換をする。

(2) 日程、会場

- ① 会場: 建築会館ホール
- ② 2020年2月27日(木) 午後1時-5時30分
- ③ 主催者等: 3団体による共催
一般社団法人北海道建築技術協会
一般社団法人建築学会 CIB 委員会地震防災小委員会
一般社団法人全国建築ブロック工業会
- ④ 参加者 公募参加者 49名
開催関係者 19名
- ⑤ 内容
 - * 開会挨拶: 一般社団法人北海道建築技術協会 会長 石山祐二
一般社団法人全国建築コンクリートブロック工業会 会長 柳澤佳雄
 - * 趣旨説明(フィリピンの脆弱性、日本の補強ブロック造導入など)
一般社団法人北海道建築技術協会/独立行政法人国際協力機構 檜府龍雄
 - * 第1部: 国土交通省補助事業「フィリピンにおける安全なブロック造技術の普及」の活動概要
ア 国土交通省「住宅建築技術国際展開支援事業」の概要: 国土交通省

イ これまでの活動と現地の状況の概要:

一般社団法人北海道建築技術協会 青野洋之

ウ フィリピンのブロック造の現状

一般社団法人北海道建築技術協会／よねざわ工業 米澤稔

* 第 2 部 フィリピン、米国と日本の組積造の構造基準の概要

ア フィリピンの構造基準の概要

東急コンサルタント 韓永輝

イ アメリカの構造基準の概観

鹿島建設 加藤秀弥

ウ 日本の基準の概観

NPO 法人都市計画・建築関連 OV の会 松崎志津子

* 第 3 部 実践的なフィリピン向けの工法の提案

ア 提案工法の概要:背景、狙い、工法の概要

北海道建築技術協会 石山祐二

イ 構造実験結果の概要

北海学園大学 植松武是

ウ 提案工法のコスト分析

明海大学 前島彩子

エ 提案工法に関する意見交換

コメンテーター:全国建築コンクリートブロック工業会

西野広滋

一般財団法人ベターリビング

小室達也

* 第 4 部 いろいろな組積造技術の紹介(55分)

ア 鉄筋コンクリート組積(RM)造

太陽エコブロックス 石井克侑

イ 組積造の魅力(外断熱工法)

アーブ建築研究所 圓山彬雄

ウ 施工合理化の取り組み

一般社団法人北海道建築技術協会／よねざわ工業 米澤稔

閉会(5分):

建築学会 CIB 委員会地震防災小委員会主査／北茂紀建築構造事務所 北茂紀



写真 8-1 シンポジウムの開催状況



写真 8-2 国土交通省杉田係長のプレゼンテーション



写真 8-3 提案工法に関するディスカッション